

公表\_令和6年度\_放デイ ぶれぶれ遊歩

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ぶれぶれ遊歩		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 15日		～ R7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	R7年 2月 15日		～ R7年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所内の環境整備の充実。	・子どもたちの特性に合わせ個室をつくる、パーティションを置くなど工夫できている。また遊具・教材においても毎年度見直しを行い新しい利用者や特性に合わせ追加や入れ替えを行っている。	・現状に満足せず、新たな試みが必要。また環境整備においても劣化した設備の改修や、修繕も考慮しなければならない。
2	・支援内容の充実	・専門プログラムに加えよりきめ細やかなプログラムの提示が評価を高めたと考えられる。また子どもたちが実際に取り組んでみたい活動を盛り込み、活動に反映させている点も良かった要因と考えられる。	・より専門性の高い支援が求められる現在において、一人一人の支援員の質の向上が必須条件といえる。また今後とも研修等を積極的に取り入れ持続して質の高い支援の提供に努めたい。
3	・虐待防止への取り組み	・年に1度の法人研修において虐待防止に努め、毎月行われる運営委員会においても各事業所、様々な取り組みが取り上げられている。今年度においては事業所内に防犯カメラを設置し防犯及び虐待発生の抑止に努めている。	・実際に虐待が起こってしまえばどうしようもないので、いかに未然に防ぐのが重要。職員の倫理感も含め小さな事柄から取り上げ、本当にこの支援でいいのか?の疑問を持ち続けていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・安全計画、避難訓練、各種マニュアルの内容の説明が不足しているとの回答が多かった。	・各種計画の作成と実施までは実践できているがその後の発信が通信とインスタグラムのみで具体的な内容の説明までは実施できていないのが要因といえる。	・保護者会やプリントを通じて年間予定のお知らせ、実施内容の周知徹底を図りたい。
2	・子どもの状態に応じて職員が足りていないとの回答が複数あり。	・子どもたちの特性が多様化していること、送迎ルートが多岐に及んでいることが要因と考えられる。よりきめ細やかな支援が求められる以上、人員は多い方がやりやすいと感じるのは当然のことかと考えられる。	・配置基準は満たされているが余裕を持った人員配置は必要と考えられる。また同時に職員一人一人のスキルアップ、障害特性への理解が必要不可欠であると考えられる。
3			

公表\_令和6年度\_放デイ ぶれぶれ遊歩

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス ぶれぶれ遊歩
------	-----------------

公表日 R7年 3月 31日

利用児童数 26人(世帯数24) 回収数 24

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	2	0	1	・運動できるスペースもあり問題ないと思う。	・今後とも適切な環境維持に努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	3	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1	0	2	・クールダウンできる小部屋があったり工夫されている。・子どもの目線に立って構造化されている。	・今後とも必要と思われる環境を整えていきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1	0	0	・クールダウンできる小部屋があったり工夫されている。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1	0	0	・保護者の意見をしっかりと反映していただけていると思う。	・今後ともご意見をお聞きしながらこども達にとって適切な支援を考えていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2	0	2		・内容についてはより分かりやすく精査し、発信していきたいと思います。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	0	0	1	・よく色々工夫されていると思う。・子どもたちが楽しめる活動計画がされている。	・日々適切な支援が実施できるよう努めてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	3	0	7	・特になくてもよい	・今年度には合同のイベントを開催しました。今後とも積極的に実施していきたいと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	0	0		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	2	0	0	・参加できていない。	・参加しやすい日程や回数等、考慮していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	1	0	0	・必要なことはすぐにLINEで連絡が来るのでとても良いと思う。	・今後ともより良いサービスを提供していきたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	0	0	0	・子どもたちの小さなことなども観察されて助言してくれる。	・今後とも継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	19	4	0	1	・参加できていない・きょうだいの直接の支援はないが、きょうだいも参加できるイベントはある。	・今年度は2回の保護者会を開くことができました。今後とも交流の場、意見交換の場として開催していきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1	0	0	・子ども同士のトラブルの際に少し不満があるようです。	・友達関係においても、本人同士が理解できるよう相談援助を実施していきたいと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	0	0	0	・活動の様子をインスタで細かく発信され楽しいことが伝わってくる。	・今後とも継続していきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	0			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	0	1	2	・月曜日だけの利用なのでよくわからない。・マニュアルの内容についての説明は受けていないと思う。	・具体的なマニュアルの提示や説明の機会を設け情報発信に努めていきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1	0	3	・月曜日だけの利用なのでよくわからない。	同上
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	0	1	0	・火災があった際にどこに避難するのかなどわからない。	・年に2回の避難訓練を実施していますがより具体的に発信していきたいと思います。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	0	0	1	・そのような状況になったことがない。	・止む得ず事故が発生した場合には速やかに現状報告をいたします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	2	0	0	・いつも楽しみに行かせてもらっている。	・今後とも継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	0	1		

公表\_令和6年度\_放デイ ぶれぶれ遊歩

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス ぶれぶれ遊歩		公表日		R7年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・スペースを最大限利用している。・気持ちを落ち着かせる場所などを確保できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3		・個別に対応しなければいけない時には職員が足りていないと感じる。・送迎を含めると不足していると感じる時がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・弱視の利用者に対しテープでししをつけたりなど工夫をしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・パーテーションの活用や段差のある道の補修など適時、対応している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・個別の環境整備に努めている。・画材、工作キット、絵本など利用者が使いやすいように工夫されている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	・週案などを活用して計画的に進めていきたい。	・仕事量が多く持続が難しいと感じる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・毎年実施している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・毎日の朝礼や月一回の面談を実施している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・内部外部を含め積極的に研修に取り組んでいると感じている。・事業所内研修、サボカレ、法人研修、専門部会。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・保護者、相談支援と連携して計画を立てている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・支援会議を実施し意見交換を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・支援会議の回数を増やしていきたい。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・記入、管理を計画的に実施していきたい。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・個別支援に項目ごとに提示している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・職員間で会議を開き決めている。	・職員間で協力が必要。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・5領域と意識して活動プログラムを考えている。	・職員間で協力が必要。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		・もっと綿密に行ってきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・翌日の朝礼で振り返り、気づいたことを共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	2		・定期的なモニタリング会議が難しいときがある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	9	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	・送迎時に担任の先生と情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	・おまつりの開催やイベントの開催など交流の場を設けた。		

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・帰りの送迎時に情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9	0	・保護者会の開催を実施した。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・ぶれぶれニュースの発行、インスタグラムの更新を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	・おまつりの開催やイベントの開催など交流の場を設けた。	
非常	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		・保護者への周知を強化していく必要がある。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・新たにアセスメントを実施した。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	・調理、お菓子づくりなど配慮している。	

時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		・家族への周知という点では不足しているところがある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0		